

専 門 教 養
令和 3 年 7 月
60 分

受 験 教 科 等
特別支援学校 小学部

注 意

- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン等の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、31ページです。はじめにページ数を確かめてください。
- 7 解答用紙に、**必要事項が正しく記入・マークされていない場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号**を記入し、**受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名**を記入してください。ただし、【3】の選択問題を表す欄のマークは**不要**です。
- 8 この問題は、**教科等に関する問題** 1 ~ 9、**特別支援教育の専門に関する問題** I ~ IV の各問題から構成されています。
- 9 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 10 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 11 問題の内容についての質問には一切応じません。

解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。各問に対して、正答は一つだけです。**各解答欄に二つ以上マークした場合は誤り**とします。
- 2 「解答番号は 。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の(例1)のように解答番号 の解答欄の③にマークしてください。

(例1)

解答番号	解答欄
<input type="text" value="1"/>	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

解答上の注意の続きを、問題冊子の裏表紙に記載してあります。問題冊子を裏返して必ず読んでください。



問題は、次のページから始まります。

「*」のことは、掲載許可を得ていませんので、掲載いたしません。

教科等に関する問題

1 次の各問に答えよ。

〔問 1〕 次の文章を読んで、後の(1)、(2)の各問に答えよ。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

(長谷川眞理子「モノ申す人類学」による)

(1) 傍線部①「

*

」とあるが、筆者がこのように述べた理由として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 貨幣経済の歴史は非常に古く、何万年も前までさかのぼれるようだが、交換と交易は進化的に言えばごく最近のことだから。
- 2 貨幣経済の進化の真ただ中で暮らしている私たちにとって、もはや貨幣は不要なものだが、ヒトという生物にとっては、貨幣という存在は必要不可欠なものだから。
- 3 貨幣は、双方の欲望が合致する相手に偶然出会うということが何度も繰り返されていく中で、貨幣を製造する技術がどんどん進歩してできたものだから。
- 4 貨幣というものが、確かに人間の生活を変え、世界を見る目を変え、欲望のあり方を変え、人生観を変え、結局のところ人間性を変えてきているように思っから。

(2) 傍線部②「

*

」とあるが、筆者がこのように

述べた理由として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 今は、狩猟採集生活時代とは大きく異なり、みんな共同作業をすることでしか生きていくことができないから。
- 2 一つの職場で一つの仕事の対価に貨幣をもらうことによって、独立して生きていくことができるから。
- 3 今でも、みんなとともに生き、生かされて暮らしているのだが、それぞれに貨幣が介在しているので、共同という感覚がなくなることがあるから。
- 4 農家、物流や商店、医者、学校の先生などが支えてくれていることで、みんなとともに生きているという負の面が実感できるから。

問 2 次の(1)、(2)の各問に答えよ。

(1) 文中の波線部の単語の品詞が副詞であるものとして適切なものは、次の1～4のうち
のどれか。解答番号は 。

1 いろいろなおもちゃが売られている。

2 少し歩くと、いつもの公園が見えてくる。

3 大輪のひまわりがきれいに咲いている。

4 私は、遊園地で楽しく幸せな時間を過ごした。

(2) 枕詞を使用している和歌として適切なものは、次の1～4のうちどれか。解答番号
は 。

1

2

3

4

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

田

係

2 次の各問に答えよ。

[問 1] 次の略地図中に網掛けで示した①～③は、ある工業地帯を含む地域を示したものであり、下の表中の**ア～ウ**は、①～③のいずれかの地域における1990年、2000年、2010年及び2017年の製造品出荷額等を示したものである。また、次のページの記述A～Cは、①～③のいずれかの地域にある工業地帯の変遷に関するものである。①～③の地域について、**ア～ウ**と、A～Cとの組合せとして適切なものは、次のページの**1～9**のうちのどれか、それぞれ選び答えよ。解答番号は①が **5**、②が **6**、③が **7**。



表 [億円]

	1990年	2000年	2010年	2017年
ア	445,033	427,472	481,440	577,854
イ	405,725	325,518	301,386	331,478
ウ	515,908	402,530	257,710	259,961

※ 2002年より、新聞、出版業が工業統計から外れている。
(矢野恒太記念会「日本国勢図会 2020/21年版」から作成)

- A この地域にある工業地帯は、第2次世界大戦前には、紡績、繊維、雑貨などを主とし、アジアを主な海外市場とした輸出向け工業に特徴が見られた。高度経済成長期には、埋立てによる臨海工業地区の造成等により、大規模な製鉄、石油化学などの工業が進出した。
- B この地域にある工業地帯は、第2次世界大戦前から、軍需工業とそれに関連する機械工業が成長した。戦後も機械工業と日用消費財を中心とする軽工業を中心に発展を続けたが、高度経済成長期以降、過密化による工業の立地条件の悪化のため、工場分散が進行した。
- C この地域にある工業地帯は、第2次世界大戦中の航空機を中心とする軍需工業の展開により、機械工業が発展した。戦後は繊維、陶磁器、合板などの軽工業に転じたが、高度経済成長期に入ると重化学工業の比重が高まった。

- 1 アーA
- 2 アーB
- 3 アーC
- 4 イーA
- 5 イーB
- 6 イーC
- 7 ウーA
- 8 ウーB
- 9 ウーC

[問 2] 我が国の選挙に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 小選挙区制は、死票が少なく、少数派の意見を比較的正確に反映することができるが、小党分立を招き、安定した政権を生み出しにくい傾向がある。
- 2 選挙権は、衆議院議員及び参議院議員については、年齢満18歳以上の日本国民が有している。
- 3 被選挙権は、衆議院議員については年齢満30歳以上、参議院議員については年齢満25歳以上の日本国民が有している。
- 4 期日前投票制度は、選挙の期日の公示又は告示があった日の翌日から選挙の期日の前日までの期間に、仕事や旅行などで選挙人名簿の登録地以外の区市町村に滞在している人が、滞在先の区市町村の選挙管理委員会で投票できる仕組みである。

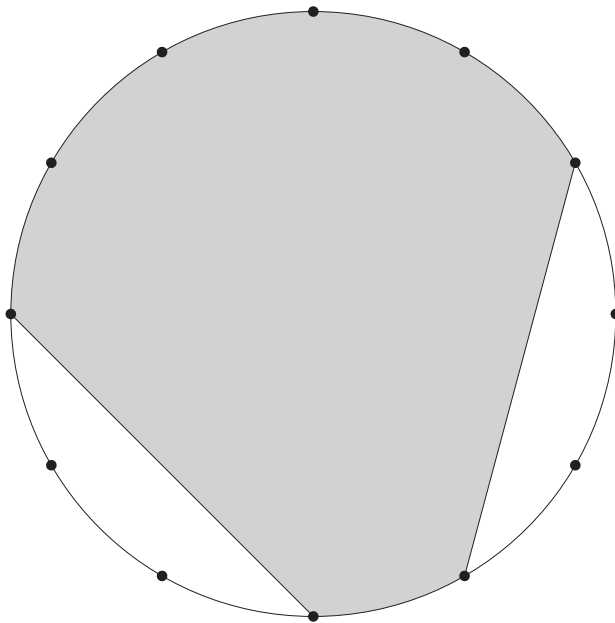
3 次の各問に答えよ。

[問 1] $76 \times 99 + 13 \times 102$ を計算すると、 である。

[問 2] 連立方程式 $\begin{cases} 2x + 3y = 30 \\ x + 2y = 22 \end{cases}$ の解は、 $x =$ 、 $y =$ である。

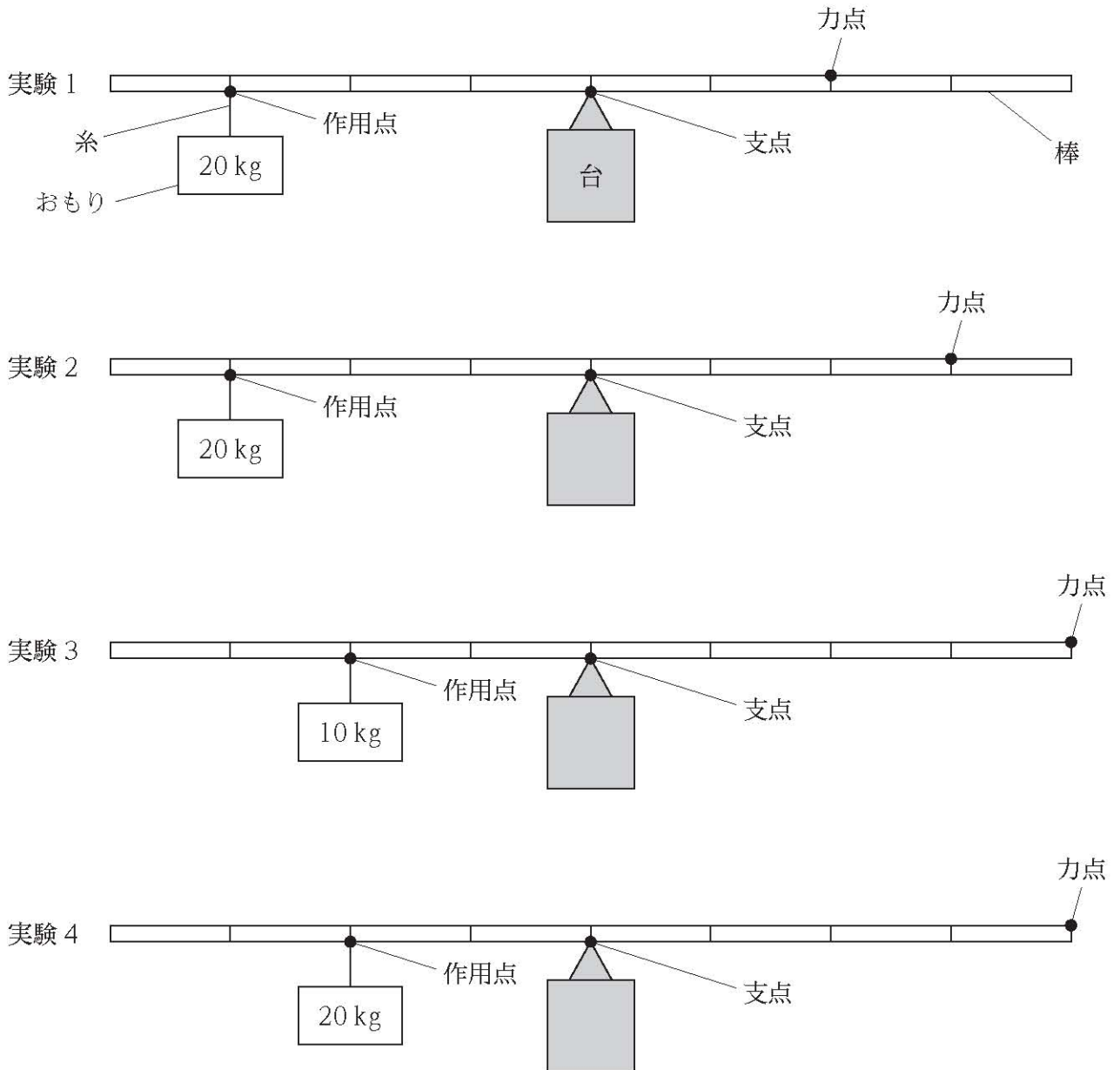
[問 3] 赤、青、黄、緑のビー玉が 1 個ずつ、全部で 4 個ある。そのうち、1 個を A の袋に、残りの 3 個のうち 2 個を B の袋に入れるとき、入れ方は全部で 通りある。

[問 4] 次の図は、半径 4 cm の円である。また、円の周上にある点は、円の周を 12 等分したものである。このとき、網掛け部分の面積は、 $\pi +$ $[\text{cm}^2]$ である。ただし、円周率は π とする。



4 次の各問に答えよ。

[問 1] 次の実験 1～実験 4 は、てこの規則性について調べる実験を模式的に示したものである。次のページの(1)、(2)の各問に答えよ。なお、それぞれの実験において、作用点、支点及び力点の位置は実験中に変えないものとする。また、棒に記された目盛り一つ分の長さは全て等しいものとし、使用する棒及び糸の重さは無視するものとする。



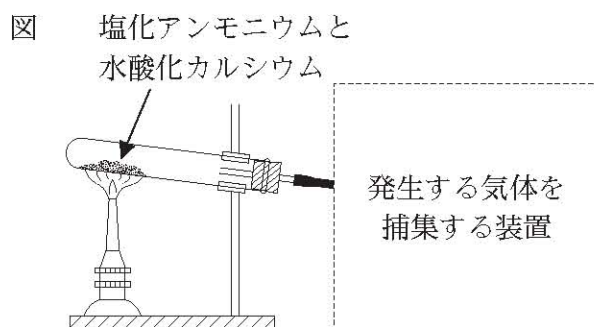
(1) 実験 1 ~ 実験 4 で、てこが水平につり合うとき、力点に加える力の大きさを小さなものから順に並べたものとして適切なものは、次の 1 ~ 8 のうちのどれか。ただし、加える力の向きは鉛直下向きとする。解答番号は 。

- 1 実験 1 → 実験 2 → 実験 3 → 実験 4
- 2 実験 1 → 実験 2 → 実験 4 → 実験 3
- 3 実験 2 → 実験 1 → 実験 3 → 実験 4
- 4 実験 2 → 実験 1 → 実験 4 → 実験 3
- 5 実験 3 → 実験 4 → 実験 1 → 実験 2
- 6 実験 3 → 実験 4 → 実験 2 → 実験 1
- 7 実験 4 → 実験 3 → 実験 1 → 実験 2
- 8 実験 4 → 実験 3 → 実験 2 → 実験 1

(2) 支点から作用点までの距離を一定にし、てこが水平につり合うときの支点から力点までの距離と力点に加える力の大きさとの関係を調べることにした。このとき、対照実験として比較する実験の組合せとして最も適切なものは、次の 1 ~ 6 のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 実験 1 と実験 2
- 2 実験 1 と実験 3
- 3 実験 1 と実験 4
- 4 実験 2 と実験 3
- 5 実験 2 と実験 4
- 6 実験 3 と実験 4

[問 2] 次の図は、塩化アンモニウムと水酸化カルシウムの粉末を混ぜ合わせたものを試験管に入れて加熱し、発生する気体を捕集する実験を模式的に示したものである。下の(1)、(2)の各問に答えよ。



(1) この実験で発生する気体の化学式として最も適切なものは、次の **1** ~ **4** のうちではどれか。解答番号は 。

1 Cl_2 **2** CO_2 **3** NH_3 **4** O_2

(2) 次の記述 **ア** ~ **ウ** は、気体の性質に関するものである。また、下の **A** ~ **C** は、気体を捕集する方法である。この実験で発生する気体を捕集するとき、**ア** ~ **ウ** と、**A** ~ **C** との組合せとして最も適切なものは、下の **1** ~ **9** のうちではどれか。解答番号は 。

ア 捕集する気体は、水に溶けにくい。

イ 捕集する気体は、水に溶けやすく、密度が空気よりも小さい。

ウ 捕集する気体は、水に溶けやすく、密度が空気よりも大きい。

A 上方置換法

B 下方置換法

C 水上置換法

1 アーA

2 アーB

3 アーC

4 イーA

5 イーB

6 イーC

7 ウーA

8 ウーB

9 ウーC

- [問 3] 次の記述は、だ液の働きを調べるための〔実験〕の手順を示したものである。下の(1)、(2)の各問に答えよ。

〔実験〕

手順① 試験管Aにデンプン溶液 10 cm³ とだ液 2 cm³、試験管Bにデンプン溶液 10 cm³ と水 2 cm³ を入れ、よく振って混ぜる。

手順② 試験管AとBを約 40℃の湯の中に入れ、10 分間温める。

手順③ 試験管AとBを湯から取り出す。

手順④ デンプンの有無を確かめるため、指示薬を試験管AとBに数滴加え、色の変化を見る。

※「デンプン溶液」は水 30 cm³ に 0.1 g の割合でデンプンを加え、加熱して溶かしたものである。

- (1) 手順④中の下線部について、最も適切なものは、次の 1～4 のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 ムラサキキャベツの汁
- 2 フェノールフタレイン溶液
- 3 ヨウ素溶液
- 4 BTB 溶液

- (2) この実験で分かることとして最も適切なものは、次の 1～4 のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 試験管Aの液体の色は変化しなかったが、試験管Bの液体の色は青紫色に変化した。このことから、だ液の働きによって、デンプン溶液は、デンプンを含まない溶液に変化することが分かった。
- 2 試験管Aの液体の色は変化しなかったが、試験管Bの液体の色は青紫色に変化した。このことから、だ液の働きによって、デンプン溶液は、麦芽糖を含む溶液に変化することが分かった。
- 3 試験管Aの液体の色は変化しなかったが、試験管Bの液体の色は赤褐色に変化した。このことから、だ液の働きによって、デンプン溶液は、デンプンを含まない溶液に変化することが分かった。
- 4 試験管Aの液体の色は変化しなかったが、試験管Bの液体の色は赤褐色に変化した。このことから、だ液の働きによって、デンプン溶液は、麦芽糖を含む溶液に変化することが分かった。

[問 4] ある部屋の空気の露点を調べ、湿度を求めるために、次の〔実験〕を行った。手順②において測定した水の温度は 28°C であり、また、手順⑤において測定した水の温度は 16°C であった。このときの湿度は 28/29 [%] である。ただし、気温と飽和水蒸気量との関係は下の表のとおりとする。

〔実験〕

- 手順① 水槽にくみ置きした室温の水を金属製コップに 3 分の 1 程度入れる。
- 手順② 金属製コップの中の水の温度を測定する。
- 手順③ ガラス製ビーカーに水と氷を入れて氷水を用意する。
- 手順④ 金属製コップの中の水をガラス棒でかき混ぜながら氷水を少しずつ入れ、コップの表面の様子を観察する。
- 手順⑤ 金属製コップの表面に細かい水滴が付いてくもり始めたら、氷水を入れるのをやめて速やかにそのときのコップの中の水の温度を測定する。

表

気温 [$^{\circ}\text{C}$]	飽和水蒸気量 [g/m^3]
10	9.4
12	10.7
14	12.1
16	13.6
18	15.4
20	17.3
22	19.4
24	21.8
26	24.4
28	27.2

6

次の問に答えよ。

[問] 次の記述は、電動糸のこぎりを使用するときの手順を示したものである。手順②の下線部において確認する刃の向きとして適切なものを下のA群のア・イから、手順③の空欄 に当てはまるものとして適切なものを下のB群のA・Bからそれぞれ選んだ組合せとして適切なものは、下の1～4のうちどれか。解答番号は 。

手順① 電源プラグが抜いてあることを確認する。

手順② 刃の向きを確認する。

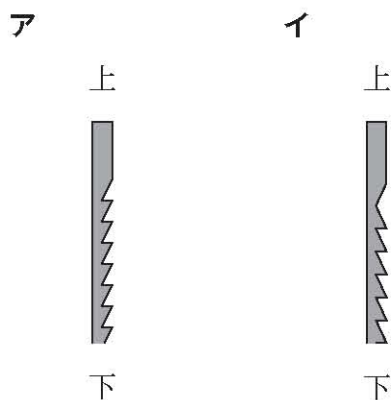
手順③

手順④ 刃の張りを指で確かめてから、コンセントに電源プラグをつなぐ。

手順⑤ 電源を入れ、刃がスムーズに動くか確かめる。

手順⑥ 板を切断する。

【A群】



【B群】

A 下部刃止めねじをゆるめ、刃の下端を止めた後、ヘッド部のばねを手のひらで押しながら、上部刃止めねじで刃の上端を止める。

B ヘッド部のばねを手のひらで押しながら、上部刃止めねじで刃の上端を止めた後、下部刃止めねじをゆるめ、刃の下端を止める。

1 アーA

2 アーB

3 イーA

4 イーB

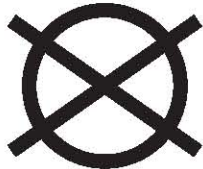
7

次の問に答えよ。

[問] 次の J I S L 0001に基づく繊維製品の取扱いに関する表示記号ア～ウと、表示記号に関する記述A～Fとの組合せとして適切なものは、下の1～8のうちのどれか。解答番号は

35。

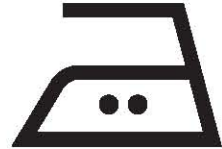
ア



イ



ウ



- A 漂白処理はできない。
- B ドライクリーニング処理ができない。
- C 液温は、40℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯処理ができる。
- D 液温は、40℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯処理ができる。
- E 底面温度200℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる。
- F 底面温度150℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる。

- | | | | |
|---|-----|-----|-----|
| 1 | ア-A | イ-C | ウ-E |
| 2 | ア-A | イ-C | ウ-F |
| 3 | ア-A | イ-D | ウ-E |
| 4 | ア-A | イ-D | ウ-F |
| 5 | ア-B | イ-C | ウ-E |
| 6 | ア-B | イ-C | ウ-F |
| 7 | ア-B | イ-D | ウ-E |
| 8 | ア-B | イ-D | ウ-F |

8

次の問に答えよ。

[問] マット運動の技に関する記述として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解

答番号は 。

- 1 頭倒立は、両手を肩幅くらいに開き、頭と両手が一直線になるように床に着き、腰の位置を倒立に近付けるように上げながら両足をゆっくりと上に伸ばし逆さの姿勢になる技である。
- 2 側方倒立回転は、体を前方へ振り下ろしながら片足を振り上げ、前方に片手ずつ着き、体を2分の1ひねり両足を真上で揃え、両足を振り下ろして起き上がる技である。
- 3 頭はね起きは、両手で支えて頭頂部をついて屈伸の姿勢の頭倒立を行いながら前方に回転し、両肩に続いて背中がマットについたら腕と腰を伸ばし、体を反らせながらはね起きる技である。
- 4 伸膝後転は、直立の姿勢から前屈しながら後方へ倒れ、尻をつき、膝を伸ばして後方に回転し、両手でマットを押して膝を伸ばしたまま立ち上がる技である。

余 白

9

次の各問に答えよ。

[問 1] 教室における次の会話について、後の(1)、(2)の各問に答えよ。

Teacher : Repeat after me. Let's start English class !

Students : Let's start English class.

Teacher : OK ! Now, I will ask you some questions.

So, how's the weather today ?

Students : It's sunny.

Teacher : Good ! It's sunny. And it's hot. Next question.

ア

Why don't you try, Kosuke ?

Kosuke : It's Wednesday.

Teacher : Good ! It's Wednesday. Next question.

What animals do you like ? Why don't you try, Yuko ?

Yuko : Let me see, ……I like “Kamome”.

Teacher : Kamome ? That's good, but “Kamome” is Japanese.

Mr. Oliver, イ

Mr. Oliver : It's “Seagull”.

Teacher : “Seagull”. Thank you, Mr. Oliver.

Everyone, let's say it together “Seagull”.

Students : “Seagull”.

Teacher : Good ! Repeat after me. Yuko likes seagulls.

Students : Yuko likes seagulls.

Teacher : Good !

(1) 会話文中の空欄 ア に当てはまるものとして最も適切なものは、次の 1 ~ 4 のうちではどれか。解答番号は 37 。

- 1 When does summer vacation begin ?
- 2 What day is it today ?
- 3 What time is it ?
- 4 What's the date today ?

(2) 会話文中の空欄 **イ** に当てはまるものとして、下の { } 内の語を用いて、完成した文章をつくる時、(①)、(②) に入るものの組合せとして最も適切なものは、下の **1** ~ **4** のうちではどれか。ただし、{ } 内には不要な語が二つある。解答番号は **38**。

() (①) () (②) () in () ?

{ say / do / is / you / I / how / English / “Kamome” }

- | | | | | | |
|----------|-----------|-------|----------|------------|------------|
| 1 | ① do | ② say | 2 | ① is | ② “Kamome” |
| 3 | ① English | ② I | 4 | ① “Kamome” | ② you |

[問 2] 次の英文で述べられている内容として最も適切なものは、下の **1** ~ **4** のうちではどれか。解答番号は **39**。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

Adapted from *Jennifer Bové: I Wish I Was a Polar Bear* (HarperCollins Publishers, 2018)

- 1** A father polar bear leaves their families to get food.
- 2** A mother polar bear raises baby with her milk.
- 3** Cubs follow their mother when she hunts.
- 4** Polar bear babies are born on the plains.

余 白

特別支援教育の専門に関する問題

I 特別支援教育に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 「特別支援教育の推進について（通知）」（文部科学省 平成19年4月1日）に関する次の記述ア～エのうち、正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の1～6のうちのどれか。解答番号は 。

- ア** 特別支援教育は、障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持つ力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものである。
- イ** 障害のある幼児児童生徒と障害のない幼児児童生徒との交流及び共同学習について、各学校においては、双方の幼児児童生徒の教育的ニーズに対応した内容・方法を十分検討し、早期から組織的、計画的、継続的に実施することなど、一層の効果的な実施に向けた取組を推進する。
- ウ** 特別支援学校においては、地域における特別支援教育のセンターとしての機能の充実を図り、地域の各学校等の要請に応じて、発達障害を含む障害のある幼児児童生徒のための個別の指導計画や個別の教育支援計画の作成及びその内容を踏まえた幼児児童生徒への直接の指導を行う。
- エ** 各学校においては、特別支援学校での勤務経験のある者の中から校長が指名した特別支援教育コーディネーターが、全校的な支援体制を確立し、発達障害を含む障害のある幼児児童生徒の実態把握や支援方策の検討を行うための校内委員会を設置する。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

[問 2] 就学に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、学校教育法施行令に照らして、正しいものを選んで組合せとして適切なものは、下の**1**～**6**のうちのどれか。解答番号は 41。

ア 都道府県の教育委員会は、就学予定者のうち、その者の障害の状態に照らして、区市町村の設置する小学校又は中学校において適切な教育を受けることができる特別の事情があるものと認める者について、その保護者に対し、翌学年の初めから二月前までに、小学校、中学校又は義務教育学校の入学期日を通知しなければならない。

イ 特別支援学校に在学する学齢児童又は学齢生徒でその障害の状態、その者の教育上必要な支援の内容、地域における教育の体制の整備の状況その他の事情の変化により、当該学齢児童又は学齢生徒の住所の存する区市町村の設置する小学校、中学校又は義務教育学校に就学することが適当であると思料するもの（視覚障害者等でなくなった者を除く。）があるときは、当該学齢児童又は学齢生徒の在学する特別支援学校の校長は、速やかに、当該学齢児童又は学齢生徒の住所の存する都道府県の教育委員会に対し、その旨を通知しなければならない。

ウ 都道府県の教育委員会は、当該都道府県の設置する特別支援学校が2校以上ある場合においては、区域外就学等の届出の通知を受けた児童生徒等を除き、特別支援学校への就学についての通知を受けた児童生徒等を就学させるべき特別支援学校を指定しなければならない。

エ 区市町村の教育委員会は、児童生徒等のうち視覚障害者等について、小学校、中学校又は特別支援学校への就学又は転学に係る通知をしようとするときは、教育学、医学、心理学その他の障害のある児童生徒等の就学に関する専門的知識を有する者の意見を当該児童生徒等の保護者の意見に優先して聴かななければならない。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

[問 3] 特別支援教育に関連する法令の内容に関する次の記述ア～エのうち、正しいものを選んで組合せとして適切なものは、下の 1～6 のうちのどれか。解答番号は 42。

- ア** 「学校教育法施行規則」では、特別支援学校の小学部又は中学部の 1 学級の児童又は生徒の数は、法令に特別の定めのある場合を除き、視覚障害者又は聴覚障害者である児童又は生徒に対する教育を行う学級にあつては15人以下を標準とするとされている。
- イ** 「障害者基本法」では、全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するため、障害者の自立及び社会参加の支援等のための施策に関し、基本原則を定め、障害者の自立及び社会参加の支援等のための施策を総合的かつ計画的に推進することを目的としている。
- ウ** 「発達障害者支援法」では、国及び地方公共団体は、発達障害のある児童生徒が、その年齢及び能力に応じ、かつ、その特性を踏まえた十分な教育や必要な支援を受けられるようにするため、発達障害のある児童生徒のみを対象とした教育を受けられるよう特別支援学校の体制を整備するなど、必要な措置を講じるものとしている。
- エ** 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」では、国、都道府県、区市町村などの行政機関や、会社や店などの事業者が、障害のある人に対して、正当な理由なく、障害を理由として差別することを禁止しており、ボランティア活動をするグループなども事業者として捉えている。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

Ⅱ

学習指導要領に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の記述**ア**～**エ**のうち、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領総則の「教育課程の編成」の「指導計画の作成等に当たっての配慮事項」に関するものを選んだ組合せとして適切なものは、下の**1**～**6**のうちのどれか。解答番号は **43**。

ア 小学部においては、児童の実態等を考慮し、指導の効果を高めるため、児童の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等並びに指導内容の関連性等を踏まえつつ、合科的・関連的な指導を進めること。

イ 児童又は生徒が、基礎的・基本的な知識及び技能の習得も含め、学習内容を確実に身に付けることができるよう、それぞれの児童又は生徒に作成した個別の指導計画や学校の実態に応じて、指導方法や指導体制の工夫改善に努めること。

ウ 創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、組織的かつ計画的な取組を推進するとともに、学年や学校段階を越えて児童又は生徒の学習の成果が円滑に接続されるよう工夫すること。

エ 児童の身体活動の制限や認知の特性、学習環境等に応じて、教材・教具や入力支援機器等の補助用具を工夫するとともに、コンピュータ等の情報機器などを有効に活用し、指導の効果を高めるようにすること。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

[問 2] 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領総則の「重複障害者等に関する教育課程の取扱い」に関する次の記述ア～エのうち、正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の 1～6 のうちのどれか。解答番号は 。

ア 重複障害者のうち、障害の状態により特に必要がある場合には、各教科、道徳科、外国語活動若しくは特別活動の目標及び内容に関する事項の全部を、自立活動として指導することができるものとする。

イ 視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者又は病弱者である児童に対する教育を行う特別支援学校の小学部の外国語科については、外国語活動の目標及び内容の一部を取り入れることができる。

ウ 重複障害者、療養中の児童若しくは生徒又は障害のため通学して教育を受けることが困難な児童若しくは生徒に対して教員を派遣して教育を行う場合について、特に必要があるときは、実情に応じた授業時数を適切に定めるものとする。

エ 知的障害者である児童に対する教育を行う特別支援学校の小学部に就学する児童のうち、小学部の 2 段階に示す各教科又は外国語活動の内容を習得し目標を達成している者については、小学校学習指導要領に示す各教科及び外国語活動の目標及び内容の一部を取り入れることができるものとする。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

Ⅲ

次の事例を読み、下の各問に答えよ。

生徒Aは知的障害特別支援学校中学部第1学年に在籍する知的障害と自閉症のある生徒である。

生徒Aの様子

- ・ 手指の巧緻性が高く、創作活動が好きである。
- ・ ①創作活動に取り組んでいると、教員の指示があってもやめることができず、作り続けることがしばしばある。
- ・ 活動の見通しがもてないときや困ったことがあったときに、気持ちを伝えることが難しい。
- ・ 安心できる担任には、「できました」など言葉での報告ができるときがある。
- ・ ②要求がかなわないときや、嫌いな音がするなどの不快なことがあったときに、大きな声を出したり、人やものなどをたたこうとしたりするなどの行動が見られる。
- ・ 一斉指導や音声による指示は、理解できないことがしばしばある。
- ・ 周りの動きに合わせて行動しているが、1日の細かいスケジュール等を理解することは難しい。

〔知的障害特別支援学校の教育課程の充実に向けて〕（東京都教育委員会 平成29年3月）から作成

〔問 1〕 下線部①について、次の記述ア～エのうち、「生徒Aの様子」や障害の特性等を踏まえた支援として、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の1～6のうちではどれか。解答番号は 。

- ア** 興味や関心のある活動中に教員が「楽しいね」、「うれしいね」などと言葉をかけて、人とやり取りすることや通じ合う楽しさを感じられるようにする。
- イ** 活動に固執し切り換えるのが難しいのは、自分にとって快適な刺激を得るためなので、毅然と対応してやめさせる。
- ウ** 活動に固執してやめられないときには、「もう少し」、「そのくらい」など、意味内容に幅のある言葉で、やめるタイミングを示す。
- エ** 固執してしまう活動では、あらかじめ活動する時間を決めておき、タイマーを使って残り時間が視覚的にわかるようにする。

- | | | | | | |
|---|-----|---|-----|---|-----|
| 1 | ア・イ | 2 | ア・ウ | 3 | ア・エ |
| 4 | イ・ウ | 5 | イ・エ | 6 | ウ・エ |

[問 2] 下線部②について、次の記述**ア**～**エ**のうち、「生徒Aの様子」や障害の特性等を踏まえた支援として、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の**1**～**6**のうちではどれか。解答番号は 。

- ア** 嫌いな音に反応したときは、ノイズキャンセルヘッドホン等を使用して音量を調整する。
- イ** 生徒Aにとって苦手な音は、他の生徒にとっても一律に不快なので、音を除去する。
- ウ** 不快な気持ちを伝えられるように、感情を表した絵カードを使用する。
- エ** その場で初めて経験する新しい活動を用意し、取り組めるようにする。

- 1** ア・イ
- 2** ア・ウ
- 3** ア・エ
- 4** イ・ウ
- 5** イ・エ
- 6** ウ・エ

[問 3] 生徒Aに対して、指導目標を「いろいろな教員に対して作業が完了したら『できました』と伝えられるようになる。」と設定した。次の記述**ア**～**エ**のうち、この目標を達成するために「生徒Aの様子」や障害の特性等を踏まえた支援として、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の**1**～**6**のうちではどれか。解答番号は 。

- ア** 話す人の方向を見て報告することは、障害の特性上困難なので指導しない。
- イ** 日頃関わりのない多くの教員とのやり取り場面を設定する。
- ウ** 日常的に報告の場面を作ったり、自分の気持ちを言葉で表現する経験を重ねたりすることで、相談することのよさが実感できるようにする。
- エ** 人と協力して遂行するゲーム等をして、適切な関わりができるようにする。

- 1** ア・イ
- 2** ア・ウ
- 3** ア・エ
- 4** イ・ウ
- 5** イ・エ
- 6** ウ・エ

IV 障害に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 視覚障害の眼疾患の一つである網膜色素変性症に関する記述として最も適切なものは、次の 1～4 のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 視神経乳頭、視野に特徴的变化を示し、通常、眼圧を十分に下げることにより視神経障害の改善あるいは進行の阻止が可能な、眼の機能的構造的異常を特徴とする疾患である。眼球破裂の危険性があり、防御眼鏡の装着を検討することも必要である。
- 2 未熟児に生後まもなく発症する可能性のある網膜の異常であり、視力や視野は正常な人から全盲の人まで個人差がある疾患である。屈折異常の矯正、網膜剥離の予防などへの対応が必要である。
- 3 乳幼児の網膜に発生する悪性腫瘍で、腫瘍が大きくなると光で反射して瞳孔が光る疾患である。二次腫瘍発生の可能性があり、生涯にわたり経過観察が必要である。
- 4 網膜桿体の機能低下が生じた状態で、暗い所が見えにくい夜盲や周辺が見えない視野狭窄が生じていく疾患である。多くは進行性であり、そのため心理的ケアが必要である。

[問 2] 聴覚障害の起因疾患とその特徴に関する記述として最も適切なものは、次の 1～4 のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 耳硬化症は、骨の異常増殖によりツチ骨が固着することを原因とし、進行性難聴や耳鳴の症状を特徴とする両側性の疾患である。
- 2 滲出性中耳炎は、耳管機能が不良となり中耳腔に滲出液が貯留することを原因とし、軽度の難聴や低音性の耳鳴、耳閉塞感の症状を特徴とする疾患である。
- 3 メニエール病は、回転性のめまいや難聴、耳鳴の症状が反復消長することを特徴とし、一側性より両側性の症例が多い疾患である。
- 4 音響外傷は、騒音職場などで長期間就労していることを原因とし、徐々に聴力が低下していく症状を特徴とする慢性発症型の難聴である。

[問 3] 肢体不自由児の知的機能の発達の検査に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 言語障害や上肢の障害による表出手段の著しい困難などのために、妥当性の高い検査値を求めることができない場合があるので、検査目的を明確にするとともに、その結果を弾力的に解釈できるような工夫を行って実施する必要がある。
- 2 標準化された知能検査を行う場合には、時間制限があったり、運動速度を必要としたりする個別式知能検査のみではなく、子供が持っている力を十分に発揮させるために検査者との関係性を大切にしながら集団式知能検査を併用して実施する必要がある。
- 3 運動・動作の障害や言語障害などがある子供に対する配慮が十分になされていない検査があるため、知能検査を厳密に行うと目と手の協応、運動速度、言語などを必要とする検査項目の成績が高く現れることに留意して実施する必要がある。
- 4 知能検査を実施する場合には、問題内容の変更や音声出力装置などの代替表現の工夫、障害の状態や程度を考慮した検査時間の延長などを行うことで、子供に合わせて実施する必要がある。

[問 4] 知的障害の起因疾患とその特徴に関する次の記述ア～エのうち、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の1～6のうちではどれか。解答番号は 。

- ア** プラダー・ウィリー症候群は、アミノ酸の代謝異常を原因とし、低緊張、過食とそれによる肥満、小さい手足などを特徴とする疾患である。
- イ** ダウン症候群は、21番染色体の過剰を原因とし、低緊張、先天性心疾患、低身長などを伴う疾患である。
- ウ** レット症候群は、女兒に多くみられ、視線回避、上肢の常同運動、小頭症などを特徴とする疾患である。
- エ** フェニルケトン尿症は、15番染色体の異常を原因とし、わずかな発語、発作的な笑い、失調性歩行などを特徴とする疾患である。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

[問 5] 「教育支援資料～障害のある子供の就学手続と早期からの一貫した支援の充実～」(文部科学省 平成25年10月)の「V 病弱・身体虚弱」に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の**1**～**6**のうちのどれか。解答番号は

52。

ア 病弱とは、病気ではないが身体が不調な状態が続く、病気にかかりやすいといった状態を表している。また、身体虚弱とは心身の病気のため弱っている状態を表している。これらの用語は、このような状態が継続して起こる、又は繰り返して起こる場合に用いられる。

イ 病弱教育では、病気の自己管理能力を育成することは重要な指導事項の一つである。そのため、病弱児にとって必要な生活規制とは、他人からの規制ではなく「生活の自己管理」と考えて取り組むことが大切である。

ウ 白血病は、血液の製造所である骨髄で異常な未熟白血球が増殖し、その浸潤により、正常造血機能の抑制を来す病気である。急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病など多くの種類があり、子供には急性リンパ性白血病が多い。

エ 気管支喘息は、気道の慢性的な炎症によって反応性が低くなり、種々の刺激により気管支平滑筋の弛緩、粘膜の腫れなどを来し、発作性に咳や喘鳴を伴う呼吸困難を繰り返す疾患である。

1 ア・イ

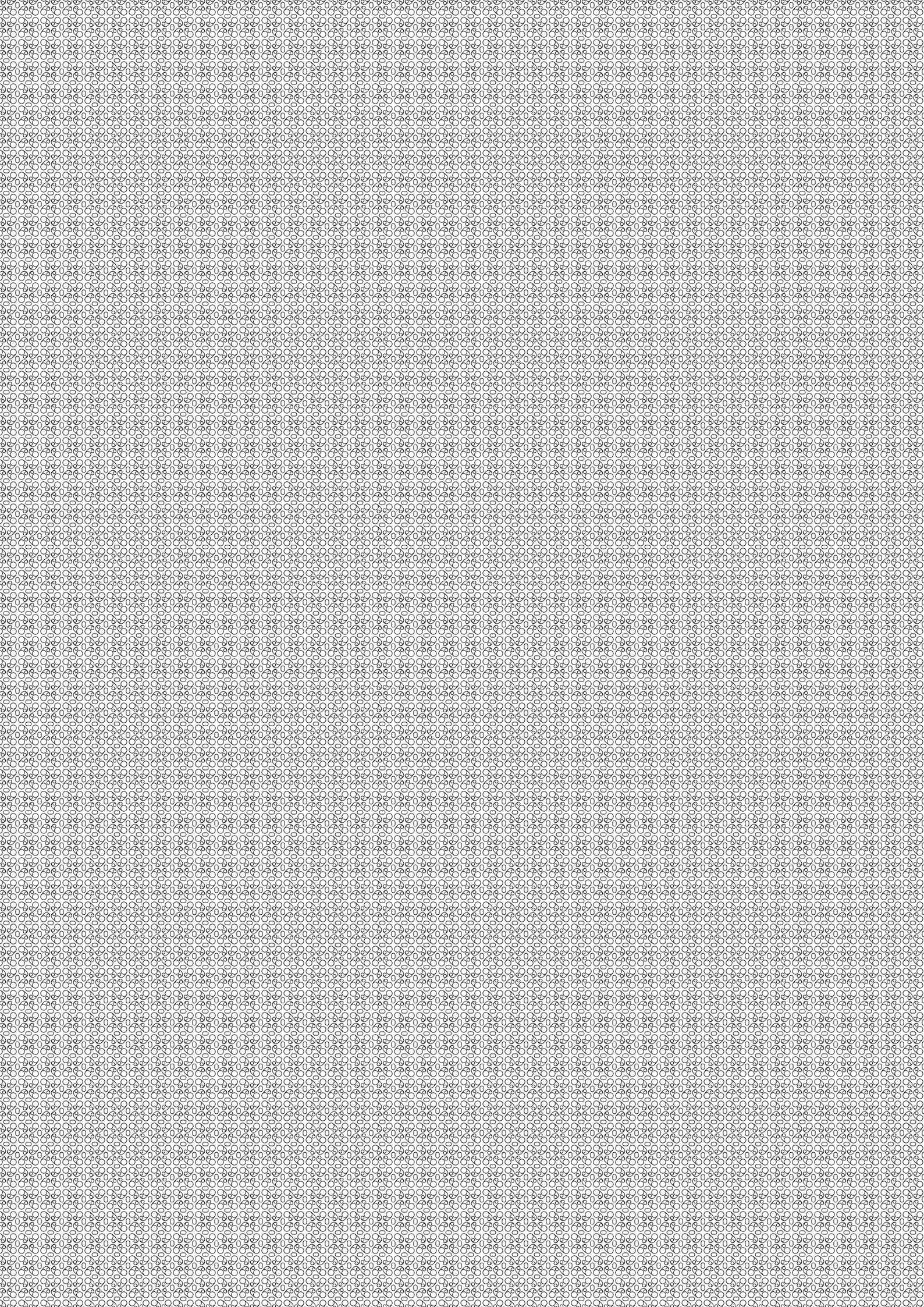
2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ



3 問題文中の $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ などの $\boxed{\quad}$ には、数字又は符号（-）が入ります。次の(1)~(4)の方法でマークしてください。

(1) $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……の一つ一つは、それぞれ1~9、0の数字又は符号（-）のいずれか一つに対応します。それらを $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……で示された解答欄にマークしてください。

例えば、 $\boxed{234}$ に -84 と解答する場合には、次の(例2)のようにマークします。

(例2)

解答番号	解答欄
$\boxed{2}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{3}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{4}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

なお、同一の問題文中に $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ などが2度以上現れる場合、原則として、2度目以降は、 $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ のように細字で表記します。

(2) 分数形で解答する場合は、符号は分子に付け、分母に付けてはいけません。また、分数は既約分数で答えてください。

例えば、 $\frac{\boxed{56}}{\boxed{7}}$ に $-\frac{4}{5}$ と解答する場合には、 $\frac{-4}{5}$ として、次の(例3)のように

マークします。

(例3)

解答番号	解答欄
$\boxed{5}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{6}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{7}$	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

(3) 小数の形で解答する場合は、特に指示されていなければ、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えてください。また、必要に応じて、指定された桁まで⑩にマークしてください。

例えば、 $\boxed{8.910}$ に 2.6 と解答する場合には、2.60 として答えてください。

(4) 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。